

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年6月11日(2015.6.11)

【公開番号】特開2014-158721(P2014-158721A)

【公開日】平成26年9月4日(2014.9.4)

【年通号数】公開・登録公報2014-047

【出願番号】特願2014-29073(P2014-29073)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	7/02	3 2 6 Z
A 6 3 F	7/02	3 0 4 D
A 6 3 F	7/02	3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月20日(2015.4.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

演出及び報知の少なくとも一方を実行することが可能な出力手段と、

当該出力手段を動作させるために用いられる制御情報群を、前記出力手段の出力制御を行いう場合に利用可能となるように特定記憶領域に記憶させる情報設定手段と、

制御実行タイミングとなつた場合に、前記特定記憶領域に設定されている前記制御情報群において当該制御実行タイミングに対応した情報を利用することで、前記出力手段を動作させる実行手段と、

を備え、

前記特定記憶領域に記憶される制御情報群には、当該特定記憶領域に記憶させる上での記憶優先度が定められており、

前記特定記憶領域に既に前記制御情報群が記憶されている状況で新たな制御情報群の記憶指示が発生した場合、既に記憶されている制御情報群の方が前記新たな制御情報群よりも前記記憶優先度が高い場合には当該新たな制御情報群の記憶処理を実行することなく前記既に記憶されている制御情報群が記憶された状態を維持させ、前記新たな制御情報群の方が前記既に記憶されている制御情報群よりも前記記憶優先度が高い場合には前記新たな制御情報群を前記特定記憶領域に上書きする書き込み手段を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

遊技者に特典を付与するか否かの特典抽選処理を実行する特典抽選実行手段を備え、前記実行手段は、

特典発生確定用の前記制御情報群が利用対象となっている場合に前記出力手段にて特典発生確定用の演出が実行されるようにする確定実行手段と、

特典発生期待用の前記制御情報群が利用対象となっている場合に前記出力手段にて特典発生期待用の演出が実行されるようにする期待実行手段と、

を備え、

前記特典発生確定用の制御情報群は、前記特典発生期待用の制御情報群よりも前記記憶優先度が高いことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記出力手段は発光手段であり、

前記制御情報群は、所定の期間中における前記発光手段の発光パターンを定めるためのものであることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決すべく請求項 1 記載の発明は、演出及び報知の少なくとも一方を実行することが可能な出力手段と、

当該出力手段を動作させるために用いられる制御情報群を、前記出力手段の出力制御を行う場合に利用可能となるように特定記憶領域に記憶させる情報設定手段と、

制御実行タイミングとなった場合に、前記特定記憶領域に設定されている前記制御情報群において当該制御実行タイミングに対応した情報を利用することで、前記出力手段を動作させる実行手段と、

を備え、

前記特定記憶領域に記憶される制御情報群には、当該特定記憶領域に記憶させるまでの記憶優先度が定められており、

前記特定記憶領域に既に前記制御情報群が記憶されている状況で新たな制御情報群の記憶指示が発生した場合、既に記憶されている制御情報群の方が前記新たな制御情報群よりも前記記憶優先度が高い場合には当該新たな制御情報群の記憶処理を実行することなく前記既に記憶されている制御情報群が記憶された状態を維持させ、前記新たな制御情報群の方が前記既に記憶されている制御情報群よりも前記記憶優先度が高い場合には前記新たな制御情報群を前記特定記憶領域に上書きする書き込み手段を備えていることを特徴とする。